



4月1日から業務を開始 釜石消防署の新庁舎が完成



通信指令室

2棟の多目的資材倉庫



消防署事務室

防火衣収納室

東日本大震災で大渡町の庁舎が被災し、鈴子町に建設していた釜石大槌地区行政事務組合消防本部釜石消防署の新庁舎が完成しました。3月30日に落成式が行われ、4月1日から新庁舎での業務を開始しました。新庁舎建設は平成23年12月から約3年3カ月の期間で事業が行われ、鉄筋コンクリート造り5階建・延べ床面積約2,710㎡で、消防指令センターを含む総事業費は約13億4,400万円。主な特徴として、庁舎西側に救助訓練設備や2棟の多目的資材倉庫も備えたコンパクトな土地の有効活用、仮眠室から車庫までのスムーズな移動線の確保、日当たりがよく市街地を見渡せる南側の事務室配置、夏季の日射を遮る省エネルギーへの配慮、大地震時に対応した耐震性能などがあげられます。市民の安心・安全を守る新たな拠点としての機能発揮が期待されます。

なお、事務組合では、釜石消防署同様に被災した大槌消防署庁舎についても、平成27年度末の庁舎完成を予定しています。

釜石消防署新庁舎の概要（建設事業費：1,008,388,500円）
 事業期間 平成23年12月～平成26年3月
 建設場所 釜石市鈴子町16-19（敷地面積：3,995.04㎡）
 構造規模 庁舎：鉄筋コンクリート（RC）造 5階建
 多目的資材倉庫A、B：鉄筋コンクリート（RC）造 3階建
 延床面積 庁舎：2,710.74㎡、多目的資材倉庫A：223.85㎡、多目的資材倉庫B：253.8㎡

消防指令センター（整備事業費：335,685,000円）
 事業期間 平成24年2月～平成26年3月
 整備場所 釜石消防署敷地内

※消防署に直接駆け込んで通報する場合は、1階玄関脇に設置してある緊急電話機をご利用ください。

消防庁舎フロア案内

3F 消防長室
 消防本部事務室
 消防指令センター
 災害対策室

2F 署長室
 消防署事務室
 小会議室

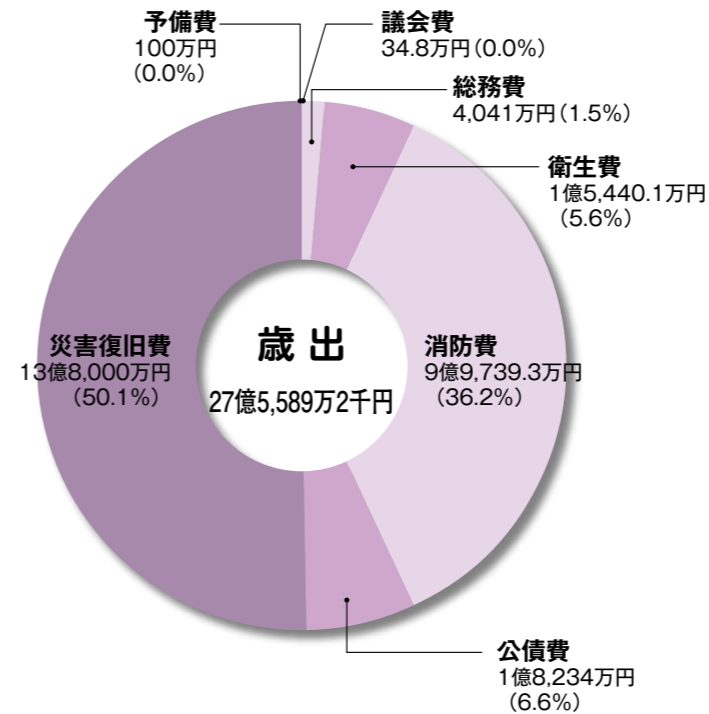
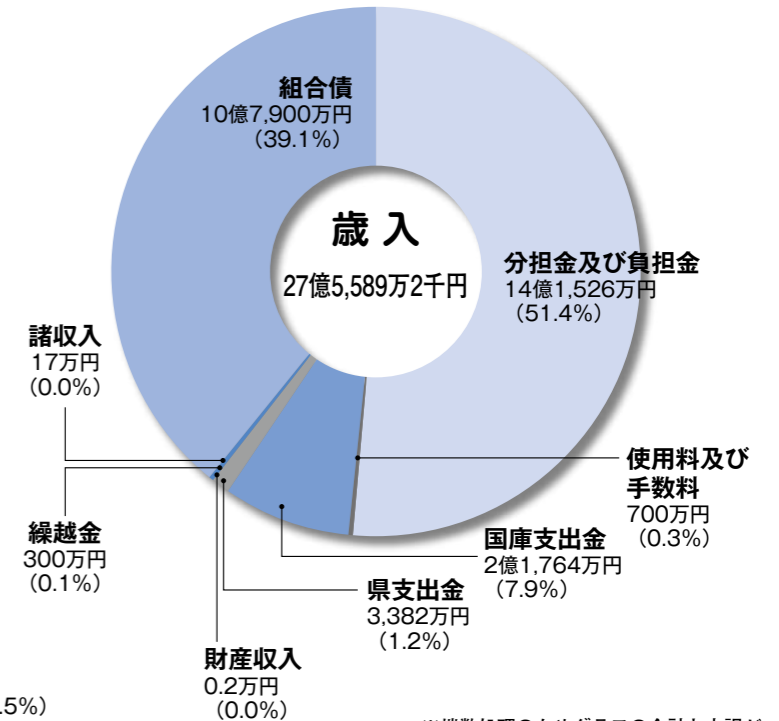
1F ロビー
 救急訓練室

問い合わせ 釜石大槌地区行政事務組合消防本部（☎22-0119）

平成26年度 釜石大槌地区行政事務組合会計予算を お知らせします

釜石大槌地区行政事務組合では、釜石市・大槌町からの分担金により、共同で消防やし尿処理の業務を行っています。
 事務組合議会2月定例会で可決された平成26年度予算は次のとおりです。

歳入・歳出予算額とも、前年度比で95.2%の増となっています。歳入では、釜石市・大槌町からの分担金が最も多く、51.4%を占めています。国庫支出金および組合債は、大槌消防署庁舎建設事業、消防ポンプ自動車購入費に、また、県支出金は岩手県公共施設エネルギー等導入事業に充てる財源です。



※端数処理のためグラフの合計と内訳が合わない場合があります。

科目別に見て最も多いのは、全体の50.1%を占める災害復旧費で、津波で被災した大槌消防署庁舎を新たに建設する事業です。消防費は、釜石大槌地区の消防・救急業務に要する経費で、36.2%を占めています。公債費は、汚泥再生処理センターや消防車両・資機材などを整備するため、これまで組合が借り入れた資金の返済に充てられる経費で、6.6%を占めています。5.6%を占める衛生費は、汚泥再生処理センターにおいて家庭や事業所から発生するし尿や、浄化槽などの汚泥処理に充てられます。前年度に比べて24.6%減少しています。

市町分担金内訳

	分担金	構成比率(%)
釜石市	9億5,535万円	67.5
大槌町	4億5,991万円	32.5
合計	14億1,526万円	100.0

問い合わせ 釜石大槌地区行政事務組合 業務部 総務課（☎31-1336）